

「復元弁才船」みちのく丸の建造と帆走

みちのく北方漁船博物館の活動を回顧 ■ 講師: 昆 政明^{こん まさあき}

2023年10月28日(土) 14:00~16:00

Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)



帆走する「みちのく丸」

1999年から2013年まで青森市で活動したみちのく北方漁船博物館。実態は「船の博物館」として漁船のみならず、国内国外の木造船と関連資料を収集展示する海事博物館であった。1999年には千石積相当の弁才船を建造、翌年より陸奥湾内で帆走を行ってきた。2011年には日本海航路をたどり、青森港から北海道小樽港、南下して島根県的美保関港までをタグボートで曳航し、訪問先の港外で帆走を実施した。2013年には太平洋を同様に巡航東京湾内で帆走を披露した。

今回はみちのく丸の建造と帆走を中心に報告し、合わせて海事博物館の活動と問題点についても紹介する。

■ 昆 政明 (こん まさあき)

日本海事史学会会員

1950年青森県生まれ。1973年法政大学地理学科を卒業後青森県立郷土館学芸員。学芸課長として退職後、2011年から神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科特任教授。専門は民俗、民具学。今年度定年退職予定。

- 関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。メールでお申し込みください。

※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。

お申込みいただいた方には10月25日(水)までにご連絡いたします。

- 会員にはメールでご案内をお送りしています。

メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■ 申込〆切: 2023年10月24日(火) 正午(12:00)**■ 申込先: kaijishi.web@gmail.com (担当: 大野)**

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み(非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の例会 開催予定日: 11月26日(日)・12月23日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回) / 総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

